Bluetooth®

2021
市場動向

目次

CEOご挨拶 **3**

エグゼクティブサマリー **4**

出荷数 **5**

バージョン別の出荷台数 6

コロナ禍の影響 7

ソリューション分野 **8**

オーディオストリーミング **11**

現在のソリューション 12

これからのソリューション 13

データ転送 **15**

現在のソリューション 16

これからのソリューション 17

位置情報サービス **18**

現在のソリューション 19

これからのソリューション 21

デバイスネットワーク **23**

現在のソリューション 24

これからのソリューション 26

Bluetooth SIGについて **28**

Bluetooth®市場調査 **29**

特に明記されていない限り、統計データはABI Researchを出典としています。ABI Researchは、Bluetoothデータセット(2020年第4四半期)、ワイヤレス接続（2020年第4四半期）、モバイルアクセサリおよびウェアラブルデバイス（2020年第4四半期）、屋内測位およびRTLS（2020年第4四半期）、コネクテッドカー（2020年第2四半期）、商業ビルオートメーション（2020年第4四半期）、スマートホーム（2020年第4四半期）、IoE（Internet of Everything、2020年第4四半期）などのデータを参照しています。予測は、実際の出荷を保証するものではありません。

© 2021 by Bluetooth SIG, Inc. Bluetooth のワードマークとロゴはBluetooth SIG, Inc. が所有し、 その他のサードパーティのブランドおよび名称はそれぞれの所有者に帰属します。

新型コロナウイルスの感染拡大は、世界規模でかつてない健康被害をもたらしました。私達の仕事や日常への影響はいまだに続いています。そのような状況の中でも、Bluetooth SIGおよびメンバー企業は技術革新を続けてきました。Bluetooth SIGのメンバー企業は、ワイヤレスオーディオデバイスやウェアラブルデバイス、位置情報サービスやデバイスネットワークに至るまで、実に多岐にわたるソリューションを提供し、消費者や商工業におけるさまざまなニーズに応えてきました。

こうした努力もあって、Bluetooth®は家庭やビル、工場における「これから」に欠かせない技術としての立ち位置を確固たるものとしています。Bluetooth はオーディオ分野でも進化を続けています。LE Audioをはじめとする技術の進歩は、ワイヤレスオーディオデバイス市場に大きな影響を与えています。また、特に各業界のリーディングカンパニーのあいだで商用施設の照明やホームオートメーションにBluetooth meshのネットワークを採用する企業が増えています。

Bluetooth®のメンバー企業は、2020年に世界が直面した課題に対して革新的なソリューションを提供してきました。今も実に多くのメンバー企業が、パンデミックを抑制するためのイノベーションを日夜開発しつづけています。世界が直面する苦境に立ち向かうため、Bluetoothコミュニティのイノベーターが集結し、「より安全で、よりつながる世界」を目指し技術革新を続けてきたのです。

そのようなすばらしいコミュニティの一員であることを光栄に思います。

マーク・パウエル | CEO | Bluetooth SIG, Inc.

コロナ禍の影響を受けなかった業界はほぼ皆無です。アナリストたちは、パンデミックが市場動向に与える影響を完全には予測できませんでした。速やかな立ち直りを見せている市場もあれば、回復への道筋がようやく見えてきたという市場もあります。結果として、Bluetooth® デバイスの年間出荷予測は全体的におよそ1年分のズレが生じました。ですが、回復と成長は続いていきます。2025年までに、Bluetooth対応デバイスの年間出荷台数は60億台を超えると考えられます。

LE Audioが大きな需要とユースケースを呼び込み成長は続く

LE Audioの仕様は2021年に完成予定となっており、Bluetooth®のエコシステムをさらに強化すると考えられています。Bluetoothのイヤホン、スピーカーおよびヒアリングデバイスの需要は高まり、2021年から2025年にかけてBluetoothオーディオストリーミングデバイスの年間出荷台数は1.5倍に増加すると予測されています。

Bluetooth® 搭載のウェアラブルデバイス及びPCアクセサリーの年間出荷台数はパンデミック前の予測を上回る勢い

Bluetooth® 技術を採用するIoTデバイスは増え続けており、Bluetooth® 技術はIoTにおいてもナンバーワンのワイヤレスソリューションとなっています。アナリストの予測では、健康やヘルスケアへの関心の高まりとリモートワークの増加により、Bluetooth対応PCアクセサリーやウェアラブルデバイスの年間出荷台数は大きく伸びると考えられています。

Bluetooth®位置情報サービス関連デバイスは成長が回復し、今後5年で上昇する見込み

コロナ禍により、Bluetooth®位置情報サービスの導入件数は予測を25%下回りました。ですが資産追跡や屋内測位といった用途への関心は依然として高いことから、Bluetooth位置情報サービスの成長率は2021年末までに回復する見込みとなっています。そして、2025年まで32%の年平均成長率を達成すると予測されています。

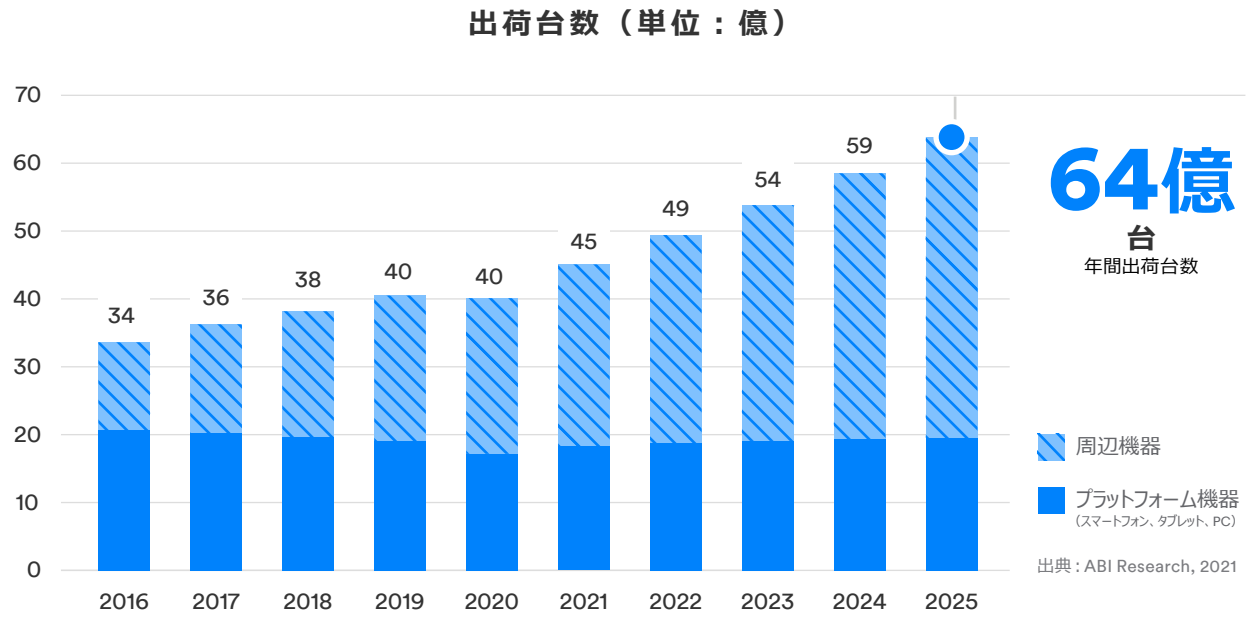
Bluetooth®の商用スマート照明が増加し、今後の主流へ

ビルオートメーション、制御、運用効率といった分野でBluetooth®デバイスネットワークは支持されており、コロナ禍のなかでも全体的に堅調となっています。商用スマート照明の特徴のひとつであるコスト面のメリットに注目している施設は多く、Guidehouse Insightsでは2029年までに世界で売上が191億ドルに達すると予測されています。

Bluetooth®デバイスの年間総出荷台数

熱心なメンバー企業コミュニティに支えられ、Bluetooth®技術は20年以上にわたり、高まり続けるワイヤレスイノベーションへの要求に応え続けてきました。

コロナ禍で世界経済が大きな打撃を受け予測が1年ずれ込んだにも関わらず、Bluetooth対応デバイスの年間出荷台数は堅調に伸び続けています。Bluetooth対応デバイスの年間出荷台数は2025年までに60億台を超える見込みです。



10%

の年平均成長

2021年から2025年にかけてのBluetooth®対応デバイスの出荷台数の伸び

2025年まで世界市場で力強い成長が続く

新型コロナウイルスの感染拡大による世界市場への打撃にも関わらずコネクティビティソリューションおよび測位ソリューションへの需要は堅調で、今後5年間、世界市場でデバイスの出荷台数は大きく伸び続けると予測されています。

70%

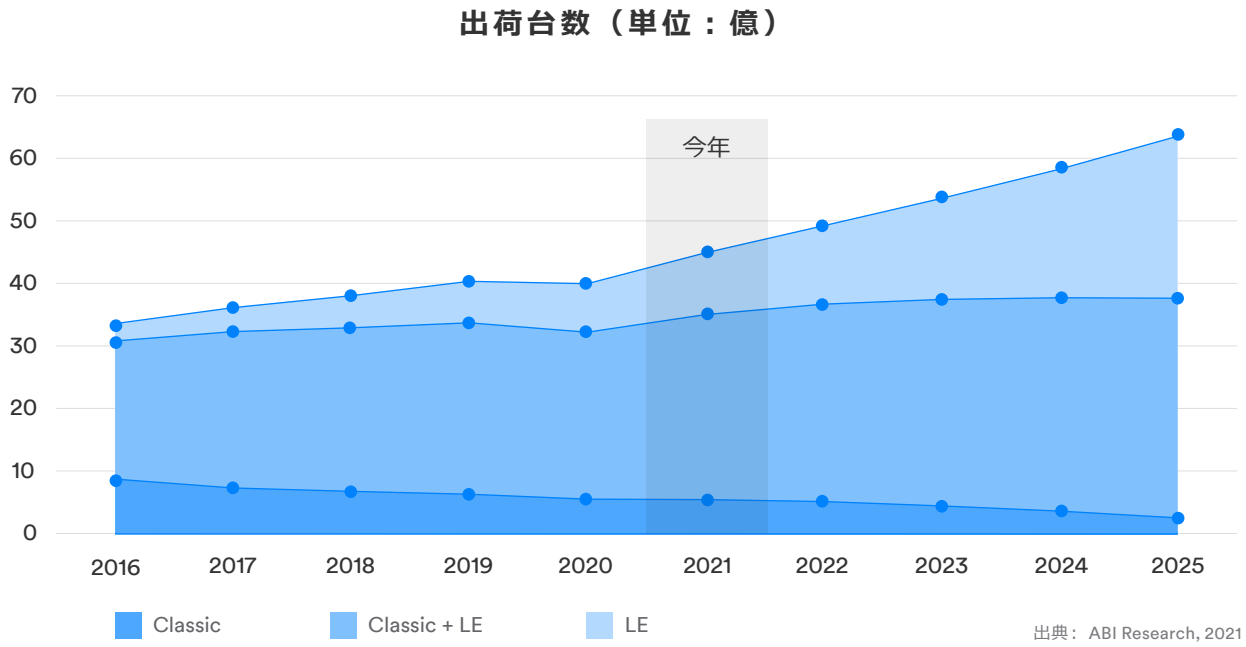
2025年に出荷されるBluetooth® 対応デバイスのうち、70%が周辺機器に

年間出荷台数の伸びを牽引するのは周辺機器

今後、周辺機器（イヤホン、ウェアラブルデバイス、センサー、スマート照明等）が大きく伸びていきます。出荷台数でプラットフォーム機器に2倍以上の差をつけ、2025年までには出荷台数がプラットフォーム機器の3倍に達すると考えられています。

Bluetooth® 対応デバイスのバージョン別出荷台数

Bluetooth® LE（Low Energy）、Bluetooth® Classicおよびデュアルモード（Bluetooth LE + Bluetooth Classic）が用意されており、世界中の開発者の需要に合わせた接続ソリューションが各種利用可能です。



出典： ABI Research, 2021

3倍
の成長

2021年から2025年にかけての、シングルモードのBluetooth® LEデバイスの年間出荷台数

Bluetooth® LEの市場への影響は大幅に拡大

シングルモードのBluetooth® LEデバイスの出荷台数は、今後5年で3倍以上になると予測されています。Bluetooth LEは、これからも市場において絶大な影響力を維持するでしょう。2025年までにBluetooth全デバイスの96%がLEを搭載すると考えられています。

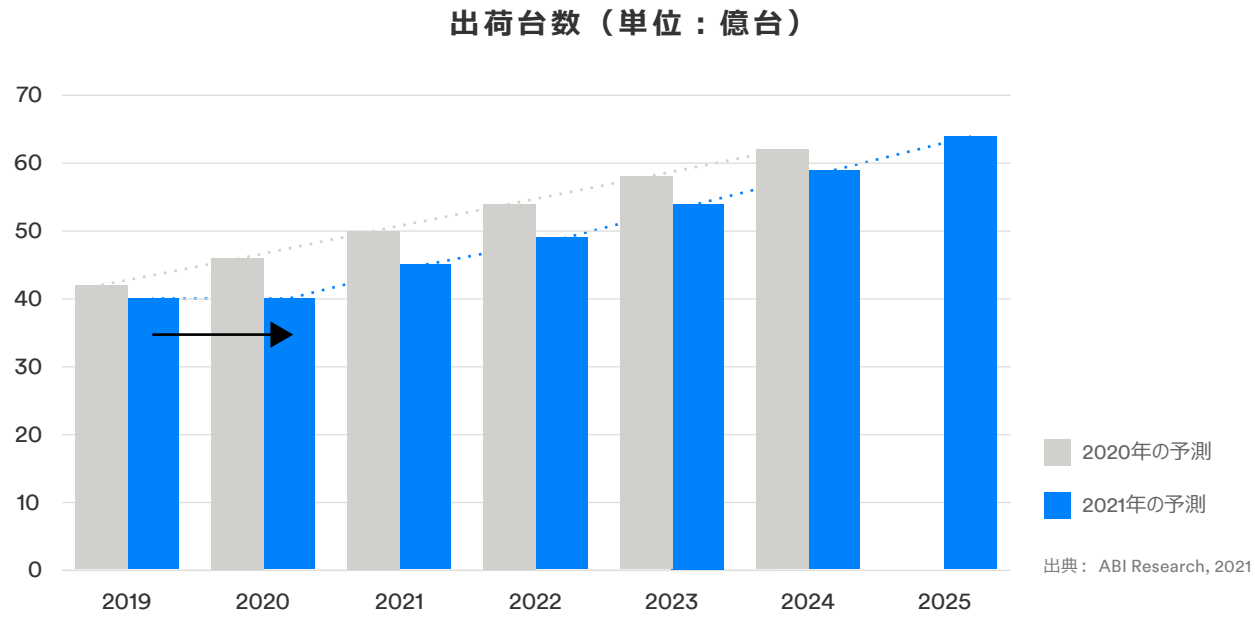
100%
の主要な新規プラットフォーム機器がデュアルモード（Bluetooth® Classic + Bluetooth LE）対応

Bluetooth® Classic対応デバイスは横ばいに

方向検知機能からLE Audioまで、さまざまな新機能をサポートするBluetooth® LEは、プラットフォーム機器市場でほぼ飽和状態となります。Bluetooth LEは100%のスマートフォンやタブレット、PCに搭載されており、Bluetooth Classic対応デバイスの数は横ばいになると予測されています。

2020年は激動の年でした。新型コロナウイルスの感染爆発は、世界規模でかつてない健康被害をもたらし、私達の仕事や日常への影響はいまだに続いています。Bluetooth® の関連市場でも、全市場で成長の鈍化が予測されました。結果として2020年は2019年比で横ばいとなったものの、2021年以降は再び成長路線に戻ると考えられています。

コロナ禍がBluetooth® デバイスの出荷に与えた影響



出典： ABI Research, 2021

予測は1年間のずれ込み

倉庫や工場の閉鎖、世界規模の出荷遅延により、デバイスの供給数が減少しました。消費者の支出も減速しており、スマートフォンやタブレット、PC市場では売上が大幅に落ち込むとともに、出荷台数の戻りはほとんど見られません。

車載デバイスなど、すぐさま復調した市場もある一方で、例えば位置情報サービス市場はコロナ禍により世界的に導入が遅れ、普及速度が鈍化しました。他の市場もこれと似た要因で鈍化しており、世界市場におけるBluetooth® デバイスの出荷台数予測は1年ずれ込むこととなりました。

ですがこの困難な時期にあって、成長を達成したBluetooth市場もあります。まずリモートワークの増加により、Bluetooth対応PCアクセサリーの需要が増加しました。また健康やヘルスケアへの関心の高まりにより、Bluetoothのウェアラブルデバイスの需要が増えています。さらに、コロナ禍が続くなかで職場等へ安全に復帰するためのソリューションの需要も増大。Bluetooth RTLS（リアルタイム位置情報システム）の導入が大幅に増加すると考えられます。

「大半の市場では、2024年までに以前の予測に近い状態まで回復するでしょう。ですが、世界の地域ごとのコロナ禍の長期的影響や、デバイス市場のトレンドに左右される面も大きくなります」。

– ABI Research

Bluetooth®
ソリューション分野

市場ニーズに応える各種ソリューション

Bluetooth® 技術はフルスタックで目的に合ったソリューションを提供し、ますます拡大を続けるワイヤレス通信のニーズに応えます。オーディオストリーミングから始まったBluetooth技術は低消費電力データ転送へと範囲を広げ、今や屋内測位サービスや信頼性の高い大規模デバイスネットワークへの需要にも応えるようになりました。

オーディオストリーミング

ヘッドフォンやヘッドセット、スピーカーなどから煩わしいケーブルを排除し、オーディオ業界に革命をもたらしたBluetooth® 技術は、私達のオーディオコンテンツとの接し方や、日々の生活を一変させました。

データ転送

家電からフィットネストラッカー、ヘルスセンサーや革新的な医療機器まで、Bluetooth®技術は日常生活で使用される数十億のデバイスをつなぐと共に、新たな発明を可能にします。

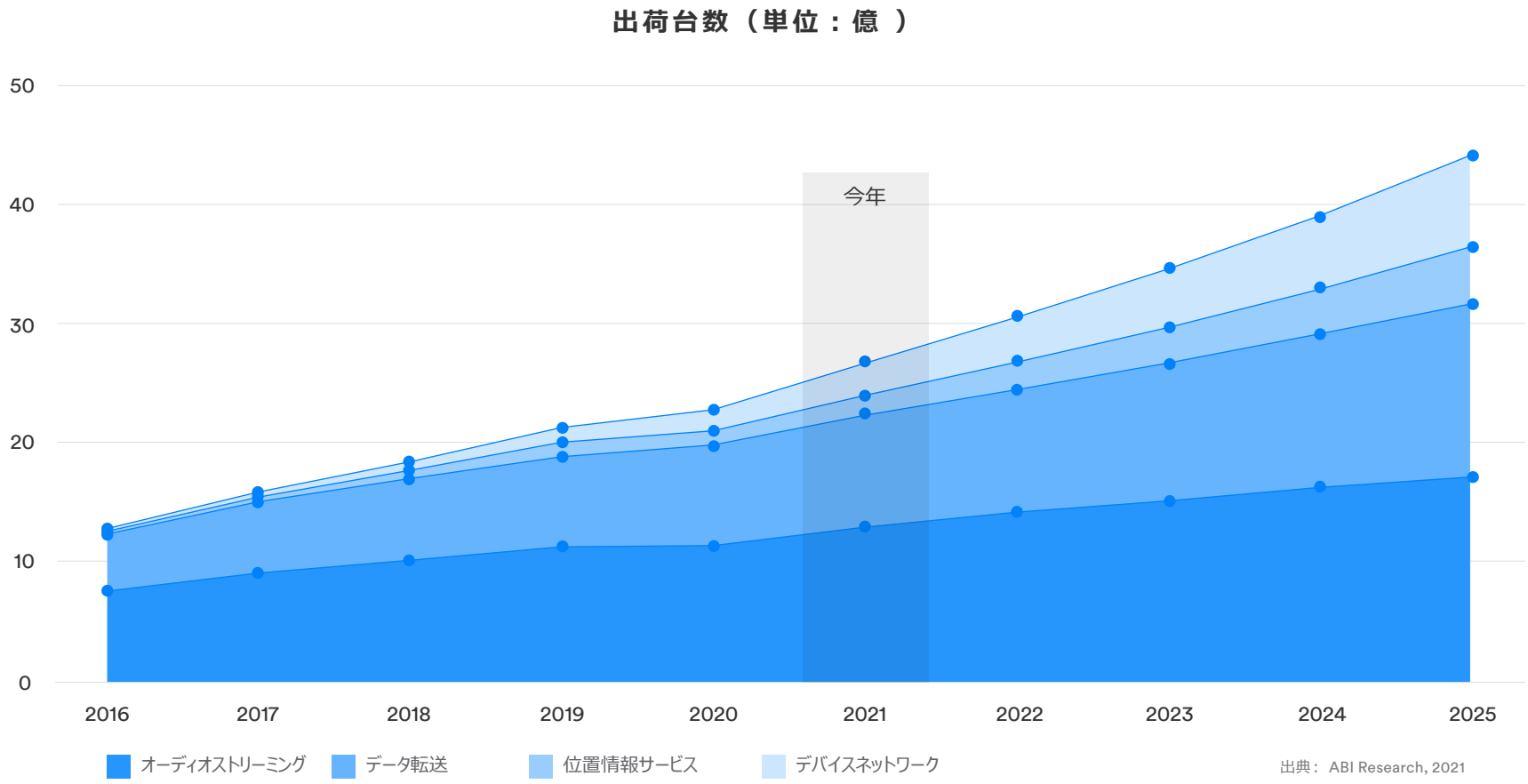
位置情報サービス

Bluetooth® 技術は、POI情報や探し物探索といった近接通信ソリューション、そしてRTLS（リアルタイム位置情報システム）による資産追跡や屋内測位システム（IPS）による道案内といった位置情報ソリューションの開発に活用されています。

デバイスネットワーク

Bluetooth® mesh ネットワークは、 数十、数百、数千のデバイスが確実かつ安全に通信する必要のある、制御・監視・オートメーションシステムの構築に最適です。

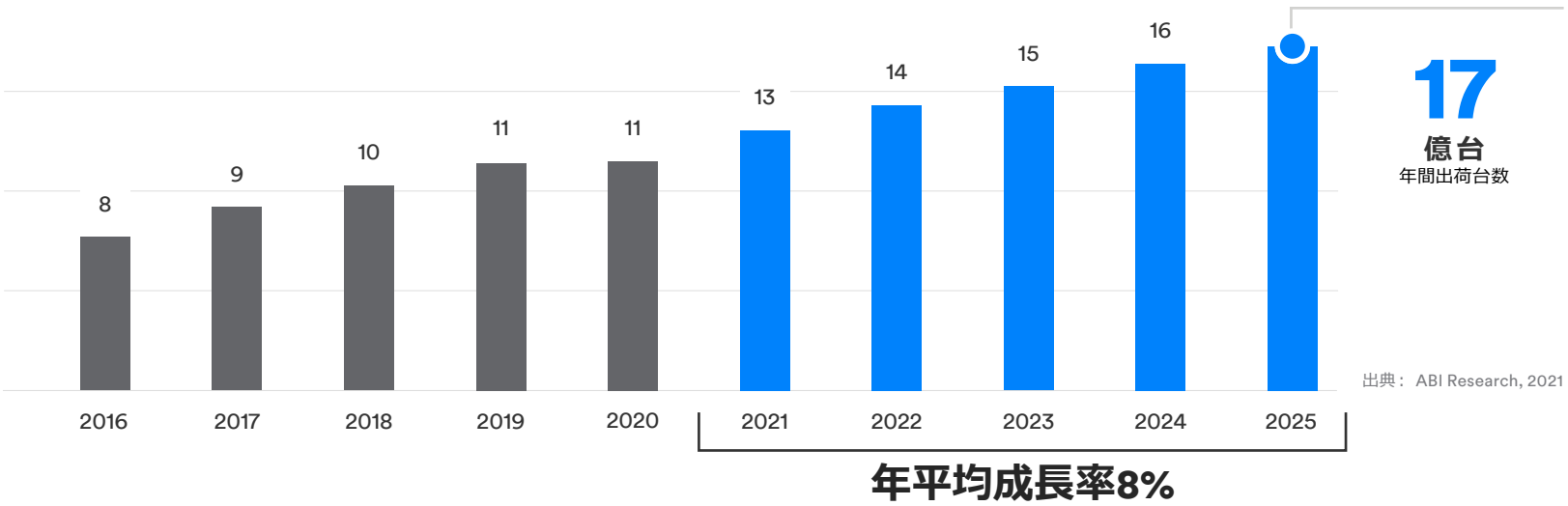
Bluetooth® 周辺機器のソリューション分野ごとの出荷台数



出典： ABI Research, 2021

Bluetooth® オーディオストリーミング機器の年間出荷台数

出荷台数（単位：億）



出典： ABI Research, 2021

13
億台
2021年のBluetooth® オーディオストリーミングデバイスの出荷台数

最大のBluetooth®技術ソリューション

ワイヤレスのヘッドフォン及びスピーカー需要に牽引され、Bluetooth® オーディオストリーミングデバイスは、Bluetoothのソリューション分野で最大の出荷台数となると予測されています。

1.5倍
の成長
Bluetooth® オーディオストリーミングデバイスの年間出荷台数の2021年から2025年にかけての伸び

１年ずれ込む予測にもかかわらず堅調な成長を維持

オーディオストリーミングデバイスの出荷はコロナ禍により鈍化したものの、市場は大幅な回復と成長を達成する見込みとなっています。

Bluetooth®ヘッドフォンがオーディオストリーミングのカテゴリーを牽引

ワイヤレスのイヤホンやヘッドフォンは、オーディオストリーミングデバイスのカテゴリーを牽引し続けています。2020年には1億5200万個のBluetooth® イヤホンが出荷されました。2025年までに年間出荷台数は5億2100万台に達する見込みです。

6億3300万
台
2021年のBluetooth®
ヘッドフォン の出荷台数

勢いを増すBluetooth®対応テレビ

Bluetooth® 接続を活用するテレビは増え続けています。とりわけホームオーディオやエンタメ分野でより優れた体験を提供できるようになっており、2025年までに年間出荷台数は1億5000万台に達する見込みです。

1億300万
台
2021年のBluetooth®
対応テレビ

増え続けるBluetooth®スピーカーの需要

現在流通しているスピーカーの94%にBluetooth® 技術が搭載されています。この数字は増え続けており、消費者がBluetooth® へ高い信頼を寄せていることが伺えます。今年、Bluetoothスピーカーは3億5000万台近い出荷が見込まれており、2025年までには年間出荷台数が4億2300万台まで増加すると予測されています。

1.5倍
の成長
2021年から2025年にかけて
のBluetooth®スピーカーの
年間出荷台数

個人が複数のBluetooth® オーディオストリーミングデバイスを所有

仕事やエンタメ、フィットネスなどに特化したBluetooth®オーディオデバイスの需要が高まっています

「特定の使用環境に合わせてカスタマイズされたワイヤレスヘッドセット製品が増えています。例えばスポーツやエクササイズ、ゲーム、エンタメ、専門分野、医療分野などに特化した製品が販売されているほか、カジュアルユーザーや旅行者、専門家など消費者カテゴリーに合わせた製品も開発されています」

– ABI Research

3.4倍
の成長
2021年から2025年にかけての
Bluetooth® イヤホンの年間
出荷台数の伸び

5億2100万
台
2025年に出荷される
Bluetooth® イヤホンの台数

9200万
台以上
2024年までに、補聴機能を搭載した
Bluetooth® デバイスの年間出荷台数
は9200万台を超える見込み
出典：Juniper Research

Bluetooth® の次世代音声規格

LE AudioにはBluetooth® の20年にわたるイノベーションが蓄積されており、Bluetooth® オーディオのパフォーマンスを高めます。また、Bluetooth補聴器やBluetooth® Audio Sharing機能に新たに対応しています。オーディオシェアリングは、私達のオーディオコンテンツとの関わり方、そして世の中とのつながり方を変えるようなポテンシャルを秘めた新機能です。

Bluetooth® イヤホン市場の拡大に貢献するLE Audio

LE Audioは消費電力を抑えつつ、高品質なコーデックと真のマルチ・ストリーム・オーディオをサポートしており、Bluetooth® イヤホンの出荷台数をさらに押し上げるでしょう。

LE Audioにより、Bluetooth® 補聴器の普及が進むと考えられます。

世界保健機関（WHO）によると、現在、世界でおよそ15億人の人々が何らかの形で聴覚障害を抱えており、補聴器を必要とする方の数は、今後も増え続けると予測されています。LE Audioはこういった方々のために重要な役割を果たすソリューションです。聴覚障害を抱える方のための製品の選択肢は増え、より容易に利用できるようになるでしょう。また、こうした製品の世界的な相互運用性が実現します。

71%
2024年までに市販の補聴器の
71%がBluetooth® 補聴器と
なる見込み
出典：Juniper Research

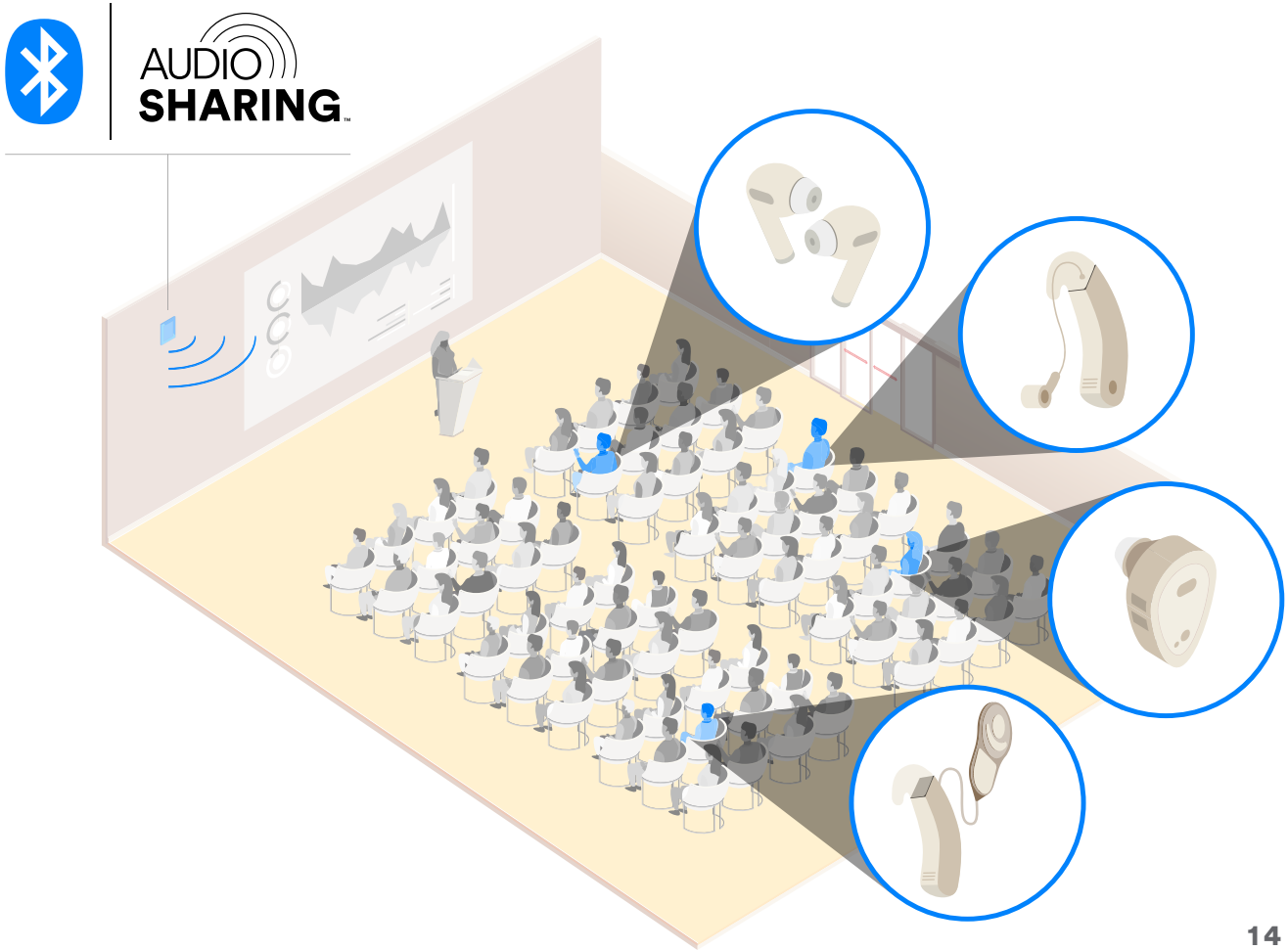
Bluetooth® Audio Sharingは、次世代の聴覚補助システム

Bluetooth® 技術は、すべてのユーザーが不自由なくオーディオコンテンツを利用できるため進化を続けています。会議室や映画館、空港、礼拝所などの公共施設にBluetooth® Audio Sharingを導入することで、聴覚障害を抱える方がより便利に利用できるようになります。Bluetooth® Audio Sharingは、高品質で低コストの、最新型のALS（補助的なリスニングシステム）となっています。

5億人

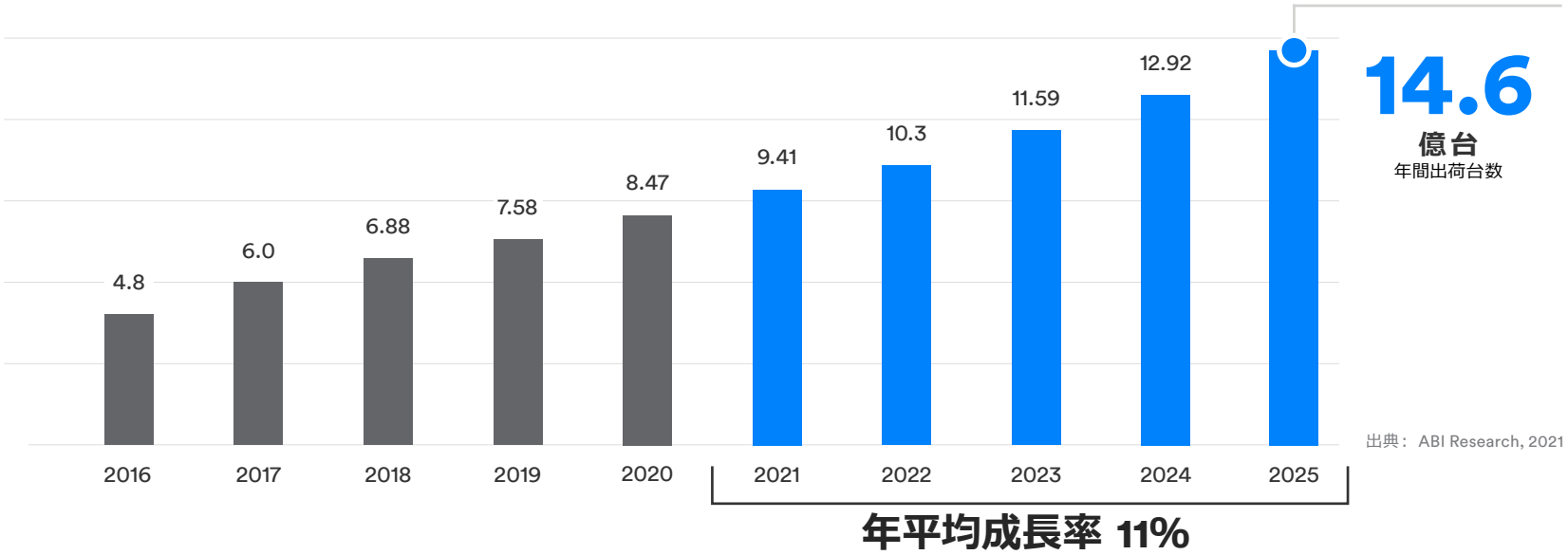
の方がアクセシビリティの高いオーディオコンテンツを必要としています

出典：世界保健機関（WHO）



Bluetooth® データ転送機器の年間出荷台数

出荷台数（単位：億）



出典： ABI Research, 2021

130
億台
2021年に130億台の
Bluetooth® IoTデバイスが
使われるように

ナンバーワンのIoTテクノロジー

IoT技術のなかで、Bluetooth® 技術を搭載したIoTデバイスの数が最も多くなっています。「IoTといえばBluetooth」なのです。

1.7倍
の成長
2025年までの、Bluetooth®
データ転送デバイスの年間
出荷台数の伸び

消費者の購買習慣が変化しつづける中、データ転送デバイスの出荷台数も安定して増加

在宅時間が増え、スマートホームデバイスや周辺機器の需要が高まっています。健康関連のウェアラブルデバイスへの関心の高まりもあり、2021年から2025年にかけて年間出荷台数は年平均で11%のペースで著しい成長を遂げると考えられます。

OEMのBluetooth® リモコンが市場を牽引

テレビや扇風機、スピーカー、カメラなどのOEMリモコンが好調です。2025年までに年間出荷台数は3億5000万台に達すると予測されており、Bluetooth® のデータ転送ソリューションで最大のカテゴリーとなっています。

2億4200万台

Bluetooth® のOEMリモコンの2021年の出荷台数

Bluetooth® PCアクセサリーは予想を超える需要増に

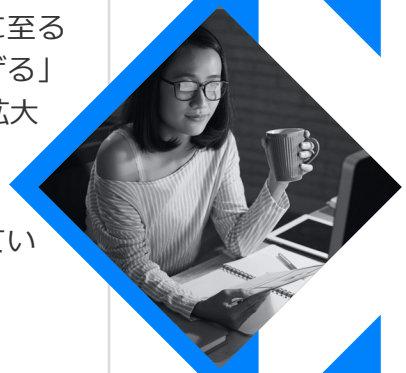
2020年は予測を下回った市場も多かったなか、PCアクセサリー市場は当初の出荷台数予測の1億4500万台をはるかに上回る、1億5300万台の出荷を達成しました。

1億6800万台

Bluetooth® のPCアクセサリーの2021年の出荷台数

さまざまな家電をつなぐBluetooth® 技術

ツールから玩具、歯ブラシに至るまで「あらゆるものをつなげる」Bluetooth® 対応デバイスは拡大を続けており、Bluetooth® 技術はIoT分野におけるナンバーワンの技術であり続けています。



1億3500万台

2021年に出荷されるその他のBluetooth® 家電

ウェアラブルデバイスは活躍の場が増えており、出荷台数が安定して増加

米国疾病予防管理センター（CDC）によると、2020年の初期の時点で遠隔医療の利用件数は前年比で5割増加しています。健康状態のモニタリングや早期発見についてニーズが高まっており、スポーツ・フィットネス向けデバイスやスマートウォッチを使ったバイタルサインの監視や濃厚接触者の追跡、さらには遠隔医療サービスとの統合といった要因が、市場を牽引したと考えられます。

2億500万台

2021年に出荷されBluetooth® ウェアラブルデバイス

1億5600万
台
2025年までのBluetooth®
スマートウォッチの
年間出荷台数

1億台
2025年までのBluetooth®
フィットネスおよび健康管理
デバイスの年間出荷台数

17倍
の成長
2025年までにBluetooth®
スマートグラスの年間出荷
台数は17倍に

8.5倍
の成長
2025年までにBluetooth®
VRヘッドセットの年間出荷
台数は8.5倍に

勢いを増すBluetoothウェアラブルデバイス

個人の健康状態を把握するためのデバイスへの関心が高まっています。それに伴い、Bluetooth® 対応のウェアラブルデバイスへの需要が増加し、社会的にも大きな注目を集めました。2025年時点のウェアラブルデバイスの年間出荷台数は、パンデミック以前の予測を上回る見込みです。

普及が進むウェアラブルデバイスおよび提供データ

健康管理や健康状態の監視に対する意識の高まり、そしてパンデミック下における遠隔医療の需要増が、危機意識を醸成し、ウェアラブルデバイスの年間出荷台数の増加を後押ししています。

27%
2025年に出荷される
Bluetooth® データ転送デバイスのうちウェアラブルデバイスが占める割合の予測

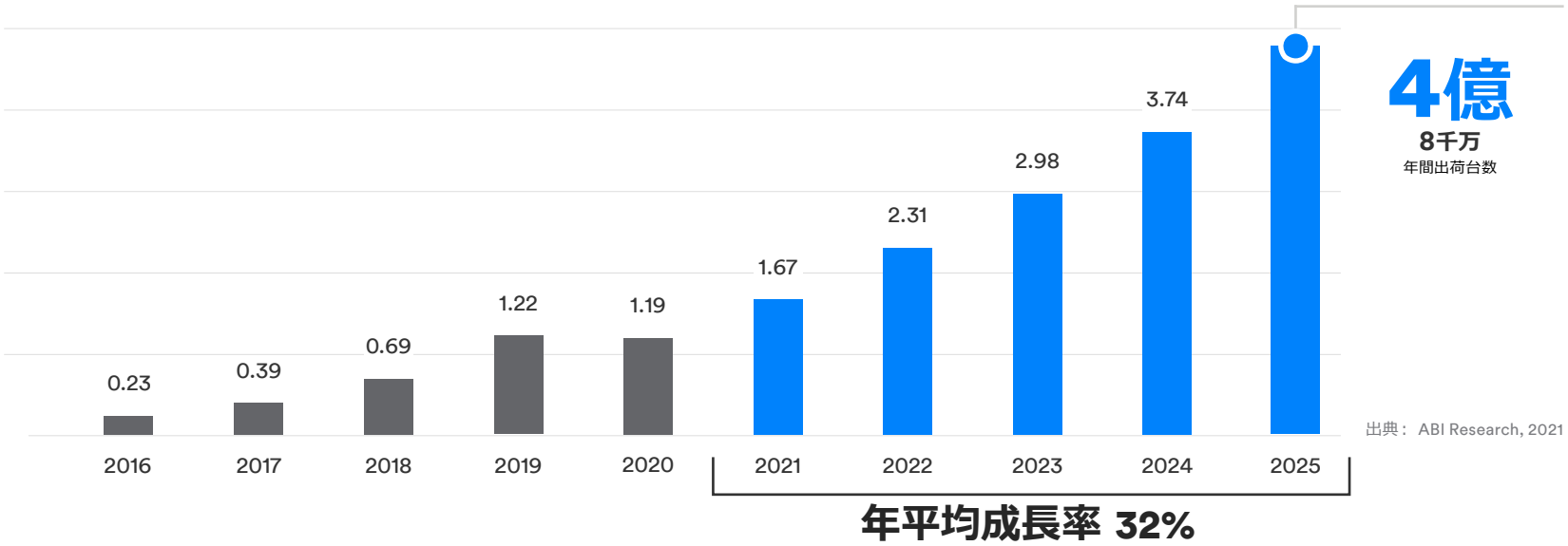
スマートウォッチやフィットネストラッカーにとどまらないウェアラブルデバイス

ウェアラブルデバイスが使われる場は増え続けています。ゲーム用VRヘッドセットやシステムトレーニングのほか、製造や倉庫管理、資産追跡などのスマート化のためのスマートグラス、スキャナ、カメラなど形態や機能は多岐にわたり、さまざまな場面で活用されています。

3700万
2025年までのBluetooth®
スマート衣料の年間出荷数

Bluetooth® 位置情報サービス機器の年間出荷台数

出荷台数（単位：億）



出典： ABI Research, 2021

26万2千

2021年後半までに導入される
Bluetooth® 位置情報サービス

位置情報サービスが再び軌道に乗る

コロナ禍により、位置情報サービスの導入は25%鈍化しました（パンデミック以前の2020年予測と比較）。要因として、感染拡大防止のため専門家の移動が制限されており、施設内に立ち入ってデバイスの設置等が行えなかったためです。ですが2021年にはパンデミック以前の状態にまで戻ると考えられており、2025年までに導入件数は55万件に達すると予測されています。

32%

年平均成長率

Bluetooth® 位置情報サービス
機器の出荷台数の年平均
成長率（2021年～2025年）

今後5年間、Bluetooth® 位置情報サービス関連のデバイスは増加傾向

Bluetooth® 位置情報サービスの認知度は高まっており、導入の再開と合わせて、市場は再び成長していくと考えられます。

Bluetooth® 位置情報サービスを最も導入しているのは小売業界

Bluetooth® 技術は、さまざまな業界で導入が大幅に増えています。また、今後5年で導入件数が倍増すると予測されており、現在は導入件数の66%が小売関連となっています。

66%

2021年に導入される
Bluetooth® 位置情報サービス
のうち66%が小売関連

2021年に最も伸びる位置情報サービスは屋内ナビゲーション

位置情報サービスと言っても、近接サービスから資産追跡まで、さまざまなソリューションがあります。その中でも今年目立っているのが屋内ナビゲーションです。導入されているBluetooth® 位置情報サービスの実に8割近くが屋内ナビゲーションとなっています。

79%

2021年に導入される
Bluetooth® 位置情報サービス
のうち、屋内ナビゲーションを
含む割合

年間に出荷される位置情報サービス関連デバイスの大半がBluetooth® トラッキングタグ

一般消費者や、商工業施設における車両、材料、人員などの追跡を行うタグは、位置情報サービスにおいて重要な存在です。2021年、4割近いBluetooth® タグが製造や物流分野で使用される見込みです。

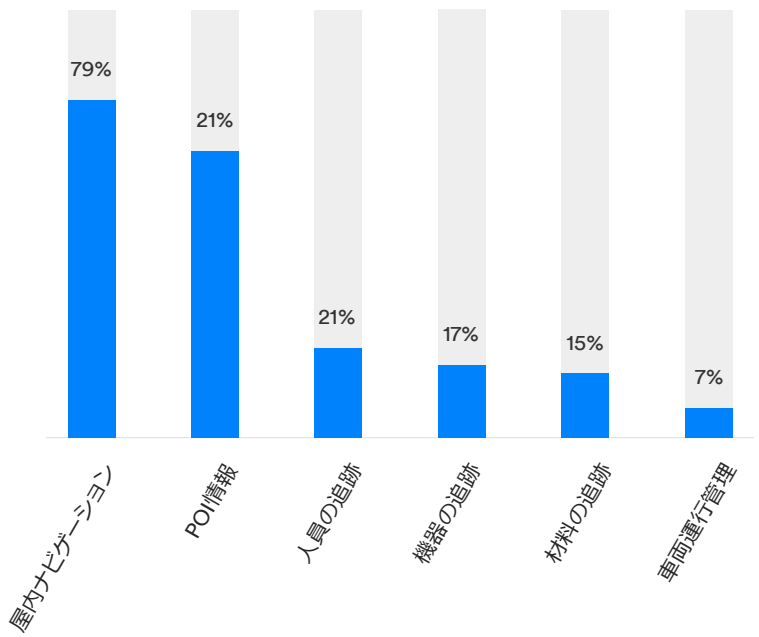
1億3600万
台

2021年に出荷予定のBluetooth®
RTLSタグおよび
個人追跡デバイス

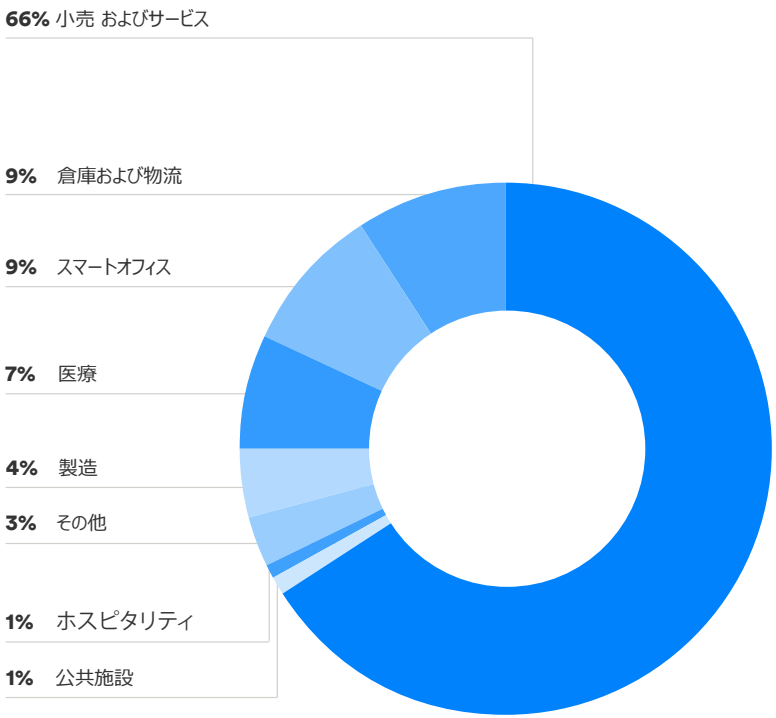
Bluetooth®位置情報サービス導入の内訳

2021年

ユースケース別



分野別



出典： ABI Research, 2021

32%
の年平均成長率
Bluetooth® 位置情報サービス機器（2021年～2025年）

4倍
の成長
2021年から2025年にかけてBluetooth® の資産追跡タグの出荷数は4倍に

2倍
の成長
今後5年で、Bluetooth®の屋内測位サービスの導入件数は倍増

5倍
の成長
Bluetooth® の医療用位置情報サービスの導入件数は2025年までに5倍に

Bluetooth® 技術は、位置測位のできる無線

Bluetooth®技術によりリアルタイム位置情報システム（RTLS）ソリューションは急速に普及しており、倉庫内の作業者やツール、病院内の医療デバイスや患者など、資産や人の追跡に活用されています。Bluetooth屋内測位システム（IPS）も、複合施設内において利用者に経路を案内する屋内ナビゲーションとして、瞬く間に地位を確立しました。

Bluetooth® の位置情報サービスをリードする資産追跡ソリューション

Bluetooth® 技術を使った資産追跡ソリューションは、世界中の企業から注目を集めています。Bluetoothの位置情報サービス導入を牽引しているのが、人や材料、機器の位置を把握するための資産追跡ソリューションです。

51万6千
件
2025年までに導入されるBluetooth® RTLS資産追跡ソリューション

Bluetooth® 方向検知機能が屋内測位サービスを促進

さらに高精度な測位が実現します。それにより今後5年で、Bluetooth® 方向検知をはじめとするIPSソリューションは大きく伸びると考えられます。

70%
導入されるBluetooth® 位置情報ソリューションのうち、屋内ナビゲーション機能が含まれる割合

スマートフォンをデジタルキーに変えるBluetooth® 技術

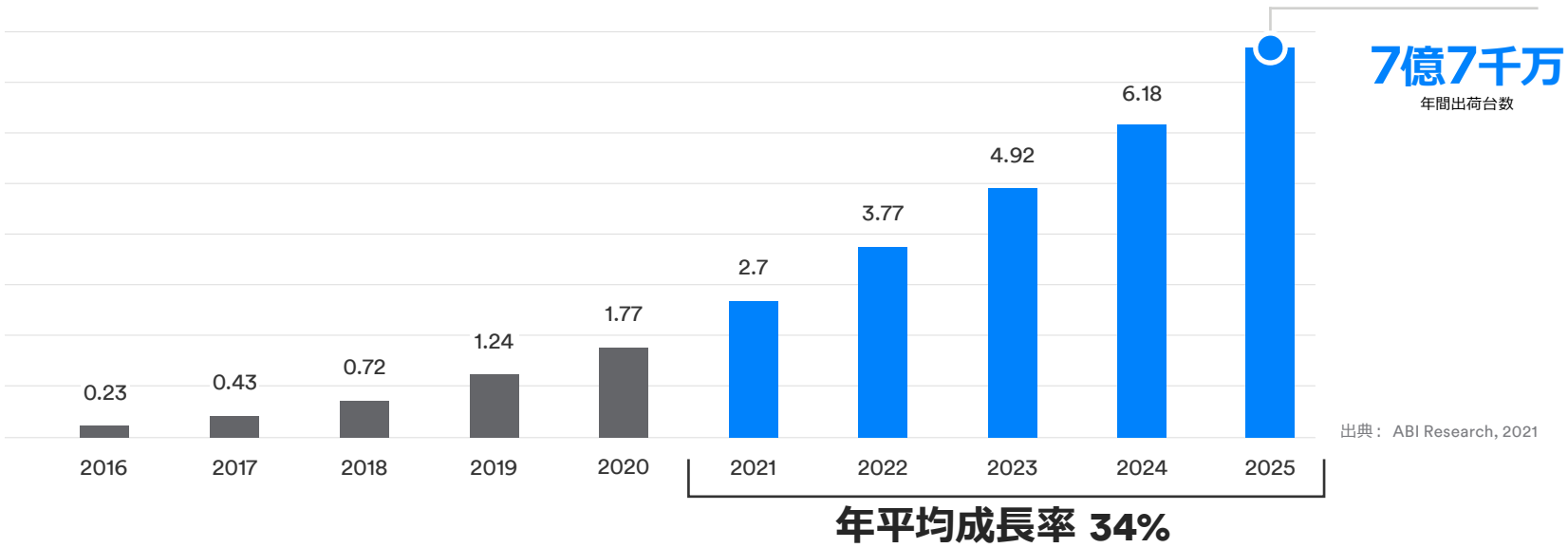
モバイル決済においても広く使われるようになったスマートフォンは、さらに日常生活における用途を広げつつあります。
その一例が、車や自宅、オフィスに近づくと自動で解錠される、便利で安全なスマートキーです。

Bluetooth®技術のスマートフォンへの搭載率は100%であり、この分野においても他にはない強みを備えています。

100%
Bluetooth® 技術を搭載しているスマートフォンの割合

Bluetooth® デバイスネットワーク機器の年間出荷台数

出荷台数（単位：億）



出典： ABI Research, 2021

4.4倍

の成長

2021年から2025年にかけて、Bluetooth® のデバイスネットワーク機器の年間出荷台数は4.4倍に

デバイスネットワークは、最も急速に伸びているBluetooth® のソリューション分野

Bluetooth® デバイスネットワークの導入は、スマートホームや商用施設における照明といった分野で急速に普及しており、デバイスネットワーク機器は今後5年間、年平均34%のペースで伸びていくと予測されています。

2億7千万

台

2021年に出荷されるBluetooth® デバイスネットワーク機器

コロナ禍のデバイスネットワークソリューションへの影響は最小

自宅で過ごす時間が増えたことで、自宅をより便利で安全にスマート化したいというホームオートメーション用ソリューションへの需要が増えています。

便利な住宅設備として普及するBluetooth®技術

2億2200万
台
年に出荷されるBluetooth®
ホームオートメーション用の
スマートデバイス

3900万
台
2021年のBluetooth®の
家庭用スマート照明の
年間出荷台数

5100万
台
2021年にBluetooth® 搭載家
電の出荷台数は5100万台に達
する見込み

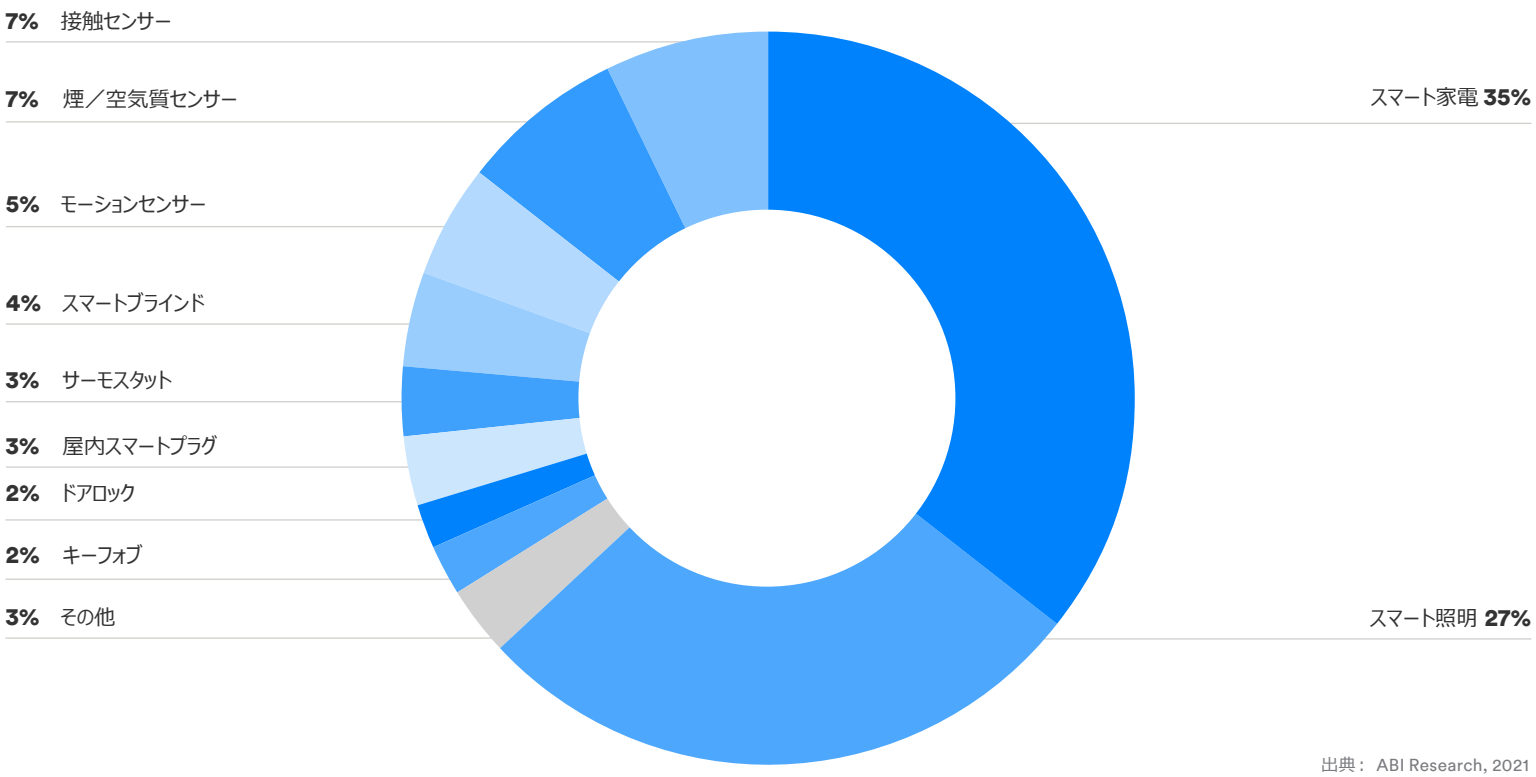
ホームオートメーションのためのスマートデバイスの年間出荷台数は、2025年までに現在の3倍にあたる6億7千万台に達する見込みです。Bluetooth® デバイスネットワークの予測を引き上げている主なデバイスが、スマートホームオートメーション用のコントローラーやスマート照明、スマート家電です。

遠隔操作など、便利さへの需要が増大しています。音声制御のスマートスピーカーやディスプレイなどが増え、スマート照明の活躍の場が広がっています。

より便利で、メンテナンスしやすく、リモートで監視できるソリューションへの需要が、スマート家電をはじめとする家庭用のスマートデバイスの普及を後押ししています。

2021年のBluetooth® 搭載スマートホーム関連デバイスの出荷台数

種類別



出典： ABI Research, 2021

一般化する商用スマート照明システム

70~75%
節約
スマート照明や高度な照明制御により節約される平均消費電力
出典：Enterprise IoT Insights、2020年

191億
ドル
2029年までに、世界中で商用のスマート照明が導入されることにより得られる収益
出典：Guidehouse Insights

57%
2029年までに出荷されるスマート照明関連ハードウェアのうち、センサーが占める割合
出典：Guidehouse Insights

商用のスマート照明システムが、建物の中枢神経になりつつあります。スマート照明システムは、建物の管理者にとってただの照明にとどまらない高度な制御機能を持つシステムとして活用でき、コストの節約や効率化につながります。たとえば屋内ナビゲーションや資産追跡といった、高度な建物内サービスを提供できるプラットフォームになりうるのです。

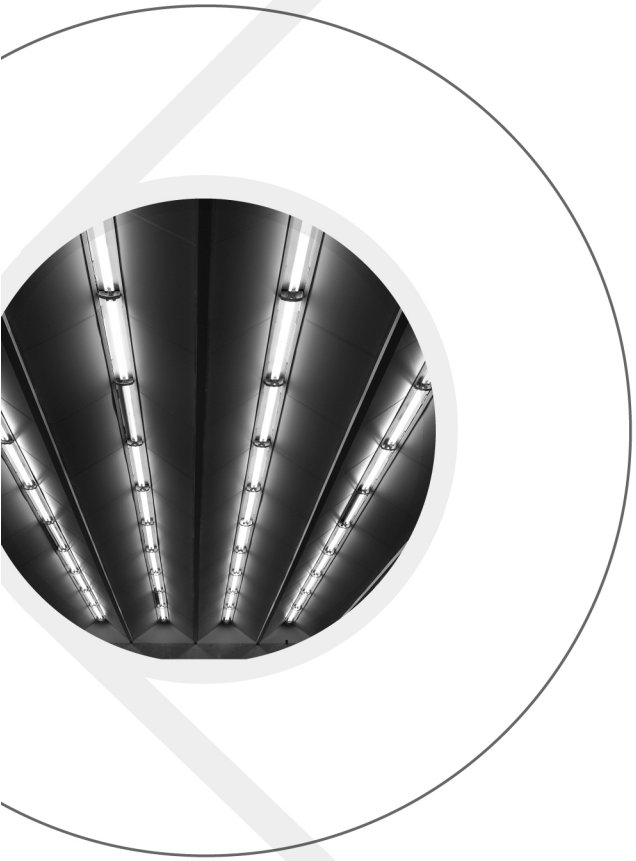
一般化しつつある商用のスマート照明

商用施設におけるスマート照明の普及の背景には、LED照明の普及や省エネ需要、導入のしやすさや施設利用者にとって便利なサービスなどがあります。

Bluetooth® のスマート照明がもたらす、単なる照明をはるかに超えたメリット

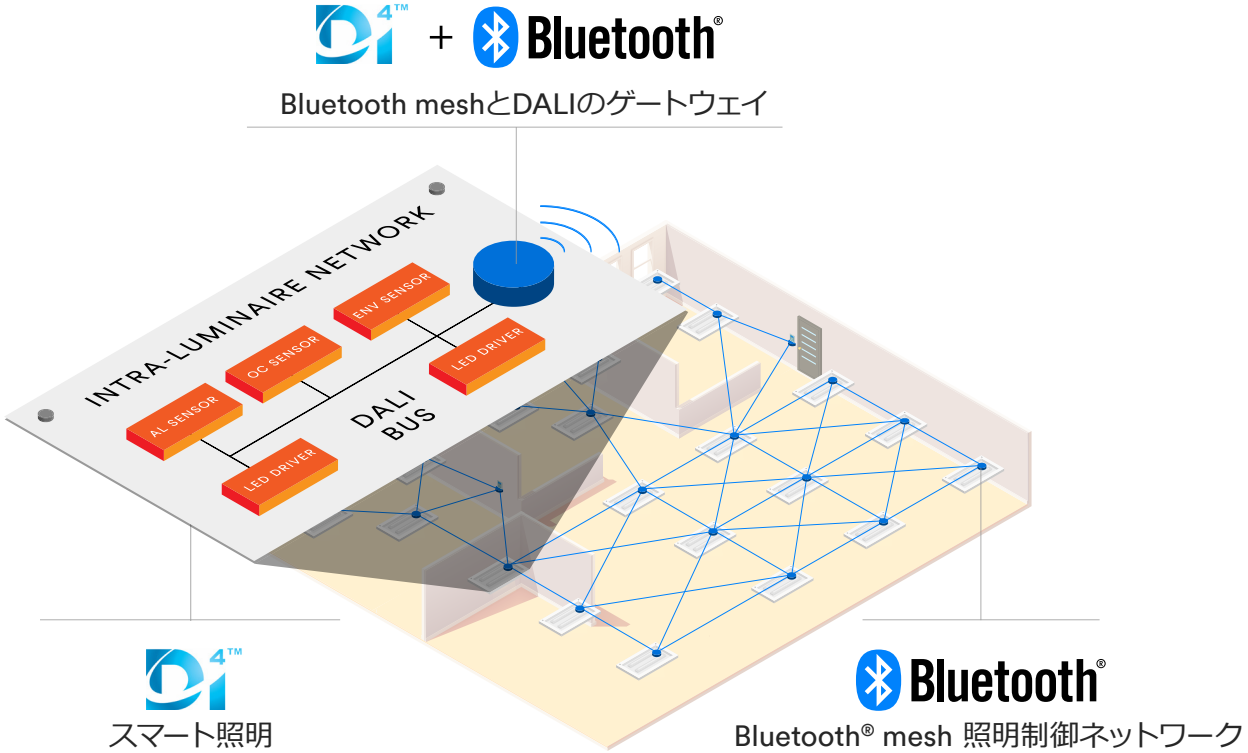
建物内における、より詳細な情報把握のニーズが高まっています。スマート照明システムは、センサー を用いた建物管理ソリューションに必要なインフラになりうるソリューションです。より詳細なデータを得ることで、HVACのような他のシステムの効率向上、施設利用者の体験管理の改善、コアシステムの寿命を延ばすことにもつながります。

> **「照明分野は、付加価値のあるスマート照明サービスへと統合が進んでおり、大きな収益源となる可能性を秘めています。IoT全体で、ハードウェアからプラットフォームサービスへの移行が進んでいます。照明分野でも、魅力的なスマート照明の体験を提供できる企業は、顧客を長期的に確保し、持続可能なビジネスモデルを確立できるでしょう」。**
>
> **– ABI Research**



Bluetooth SIGとDALI Allianceの提携

Bluetooth SIGとDALI Allianceの提携は、大きなニュースとして市場に受け止められました。一般的に、技術規格は市場の成長に強い影響を与えます。今回の提携により、センサーを搭載した照明器具や高度な照明デバイス等、商用のあらゆるスマート照明システムで連携が進み、スムーズな相互運用が可能となるでしょう。これはメーカーからエンドユーザーに至るまで、バリューチェーンの全員にメリットをもたらすパートナー関係です。



1998年に設立されたBluetooth SIG（Special Interest Group）は、世界の一流企業から構成されるメンバー企業間でBluetooth® 技術をとりまとめる非営利事業者団体です。

米国ワシントン州カークランドに本拠地を置き、ケーブルから解放されたコネクテッドな世界の構築に向けて、メンバー企業との共同作業を通じてシンプル、柔軟、セキュアなワイヤレス通信ソリューションの実現と進化に取り組んでいます。

仕様策定

Bluetooth®技術の機能拡大

メンバー企業の共同作業をとりまとめ、Bluetoothの新規・拡張仕様を策定します。

認証

Bluetooth®対応デバイスの相互運用性を推進

世界クラスの認証製品プログラムを通して、メンバーにBluetooth技術を提供し、商標ライセンス契約を行っています。

普及

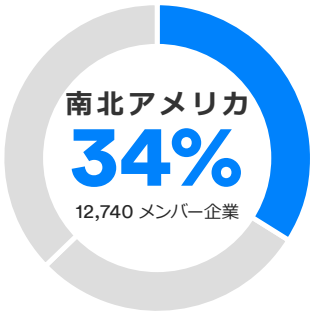
Bluetooth®ブランドの発展

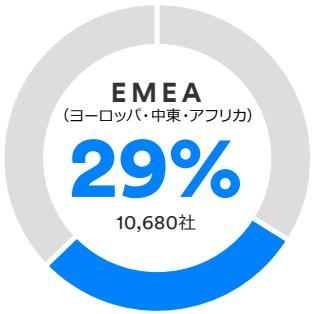
Bluetooth技術の認知、理解、採用の促進を通して、Bluetoothの発展を図ります。

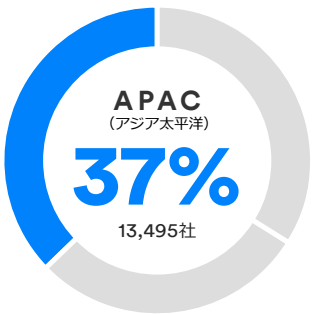
36,645社

BLUETOOTH SIG メンバー企業

地域別SIGメンバー企業数







出典：Bluetooth SIG、2020年12月31日現在

Bluetooth市場調査コミュニティ

Bluetooth市場調査コミュニティに是非ご参加ください。コミュニティメンバーになることで、Bluetooth®技術の最新のトレンドや予測をご紹介する市場データに一足早くアクセスできるだけでなく、御社や貴方自身にとって最も価値のある調査データを確実に得られるように、収集・共有データについて意見を述べることも可能です。

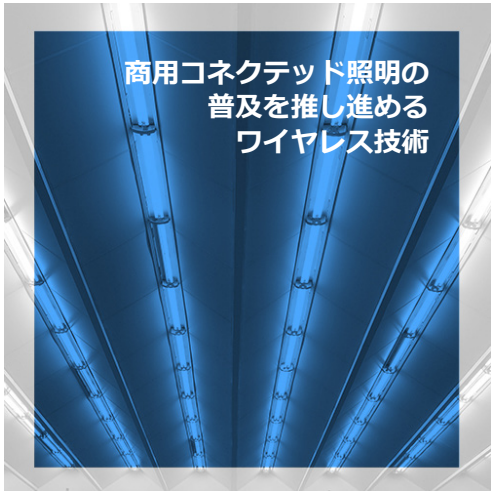
参加はこちらから

bluetooth.com/marketresearch

最新調査

Bluetooth技術に関する資料はすべて bluetooth.com/resources からご覧になれます。

レポートのダウンロード



レポートのダウンロード

レポートのダウンロード

特に明記されていない限り、統計データはABI Researchを出典としています。ABI Researchは、Bluetoothデータセット(2020年第4四半期)、ワイヤレス接続（2020年第4四半期）、モバイルアクセサリおよびウェアラブルデバイス （2020年第4四半期）、屋内測位およびRTLS（2020年第4四半期）、コネクテッドカー （2020年第2四半期）、商業ビルオートメーション（2020年第4四半期）、スマートホーム（2020年第4四半期）、IoE（Internet of Everything、2020年第4四半期) などのデータを参照しています。予測は、実際の出荷を保証するものではありません。

© 2021 by Bluetooth SIG, Inc. Bluetooth のワードマークとロゴはBluetooth SIG, Inc. が所有し、 その他のサードパーティのブランドおよび名称はそれぞれの所有者に帰属します。

Bluetooth®